



新屋小学校の取り組み

「コロナ禍を経てできるようになったこと」

活動内容が制限される中でも、「できることをしていきたい」という思いのもと、各学年さまざまな活動を取り入れることができる年になりました。

異学年交流

おもちゃで遊ぼう

二年生が生活科の学習で作った「ついでにくわたしのおもちゃ」で、一年生を招待して一緒に遊ぶ活動をしました。松組同士、竹組同士で人数を分けながら行いました。

一年生は、繰り返し工夫をして作ったおもちゃの遊び方を、一生懸命伝えていました。一年生は、ワクワクしながら楽しんで遊んでいました。



うるトラ楽しかったよ!



遊びにトライ!

下学年への読み聞かせ



三年生から一年生に(松)

三年生から一年生に(竹)

三年生は、一年生への読み聞かせを行いました。練習のときは緊張している様子が見られましたが、本番では喜んでくれていた一年生を前に、楽しそうに読み聞かせをすることができました。

三年生の子どもの感想からは「一年生が反応して聞いてくれるのが見られてうれしかった。」などが聞かれました。

休み時間にも…

今年度は、警戒度が下がったタイミングで休み時間に遊べる学年の制限を減らし、他学年との幅広い交流ができるようになりました。いつも遊んでいるメンバーに加えて低学年は高学年とも関わる場面が増え「休み時間ももっと楽しめになった。」という声を聞くことができました。



↑学年いろいろドッジボール



みんなでゴムとび

保護者の協力

初めてのミシン、ドキドキときどきガタガタ!

5年生は、保護者にご協力いただき家庭科でミシンの学習に挑戦しました。初めてのミシンに「こんなに進むんだ!」「こわい。」「でも、すごい楽しいね。」といった感想がありました。とても味のあるステキなエプロン



初めてのミシン

ができました。



ミシンにトライ!

スイミング教室

今年度は、富岡スイミングスクールを借りて水泳教室を行うことができました。インストラクターや教員はフェイスシールドを着用し、子どもたちはマスクをしていないためしゃべらないというルールで実施しました。



久しぶりのプール

参加した子どもたちからは「久しぶりのプールで楽しい。」「顔を付けられるようになってうれしい。」「なごの感想がありました。」

十月なのに雪!?

今年の六年生の修学旅行は、丸沼高原に行きました。タイトルのとおり、十月なのに雪景色が広がり、季節外れの寒さを体験しました。旅行先では、ソリアドベンチャーやリング狩りを体験したり、吹割の滝やゴンドラに乗って山頂まで行ったりと、さまざまな活動を行うことができました。子どもたちからは「高原の楽しさや気持ちよさを体験できて楽しかった。」「吹割の滝で見た地層のでき方がもっと知りたくなった。」「などの感想が出ました。」

提言

みみ



新屋小学校 教頭 小井土 理

一年生のある男の子に「学校で一番好きな事って何?」と尋ねたところ、しばらく考えてから「んー、友だちといっぱい遊べるのかな。」と答えてくれました。私たちが生活する上で、楽しい経験ができるのも苦しい体験や貴重な体験ができるのもたくさん友だちがいるおかげだと思います。

「友」という文字は、どんな意味を持っていると思いますか?友という漢字の由来はその成り立ちから考えることができます。「友」という漢字の最初の形はこの文章の題名(みみ)のようになっています。

つまり、人と人が手をとり合っている形からできた漢字なのです。手と手を取り合って助け合うこと、手をたがいににぎる意味をもっているのだそうです。昔からよい友だちをもつことが、人の一生でもとても大切なこととされています。中国の故事にも、よい友だちを探すために年月をかけて旅したという話もたくさんあります。でも、よい友だちとはどのような友だちをいうのでしょうか?皆さんはどう思いますか?本当の友だちって?



私は「こんな友だち」がいいなって思います。「黙っていても温かく、いざというときに心から心配し、共に悲しみ、いっしょに怒り、共に笑ってくれる…」



初めてのプール



↑今年度は雪だよ!



みぞれニモマケズ→

新屋小学校
校長 市川光早
児童 249人



新屋小学校 ホームページ